

周辺より高い値の放射線量が測定された場所（いわゆるマイクロスポット） の確認と今後の対応策について

横浜市の空間放射線対策は、小中学校校庭等を順次測定していくことにより、地域的な片寄りがないう市域全体を面で捉えて放射線量を把握してきております。

これまでには、特に、異常値は測定されていませんでしたが、このたび、市民の方からの情報提供に基づき、調査測定を行いました。その際、道路側溝等に砂塵が集積しているような条件の下で、放射能濃度が周辺に比較して高くなっている場所がありましたので、放射線対策部会議において検討を行い対応しました。その結果を報告します。

1 当該場所（地区は港北区大倉山、新横浜周辺）

番号	当該場所の検体 各地点から堆積物を約 500cc (約 300g) を採取	特徴	線量 (μ Sv/h) NaI シンチレーションにて測定			参考核種 分析結果 (Bq/kg)
			調査時 (9/12)	撤去前 (9/17)	撤去後 (9/17)	
①	道路側溝雨水柵の 周辺の堆積物	L 字側溝にそそぐ開放 雨樋からの雨水と土砂 の滞留乾燥の繰り返し	a: 0.91 b: 0.14 c: 0.14	a: 0.53 b: 0.14 c: 0.11	a: 0.31 b: 0.13 c: 0.11	40,200
2	道路側溝雨水柵の 周辺の堆積物	上記 1 より上流側で雨 樋排水の影響はほぼ無 い	b: 0.20 c: 0.14	a: 0.11 b: 0.10 c: 0.08	a: 0.10 b: 0.09 c: 0.08	3,030
3	道路区域内の噴水 施設（停止中）の底 部の堆積物	噴水のヘドロ状態の土 砂が乾いた場所	c: 0.13	a: 0.17 b: 0.11 c: 0.12	a: 0.14 b: 0.11 c: 0.09	35,000
4	道路の植栽柵から はみ出し凹部地形 に集積した土・砂塵 等	勾配の関係から雨水の 滞留乾燥が繰り返され た場所	c: 0.13	a: 0.19 b: 0.12 c: 0.10	a: 0.16 b: 0.12 c: 0.10	27,600
5	歩道の植栽柵から はみ出し凹部地形 に集積した土・砂塵 等	勾配の関係から雨水の 滞留乾燥が繰り返され た場所	c: 0.11	a: 0.14 b: 0.12 c: 0.11	a: 0.12 b: 0.10 c: 0.10	11,320

a 地上 5 cm ・ b 地上 50 cm ・ c 地上 1 m

2 本日の対応

本市の空間ガンマ線量率の測定に際し、「再測定の目安」としている 0.59μ Sv/h(※) を超える線量率を測定した場所は、①だけですが、他の場所についても①同様に堆積物の撤去を行い、残土は管理施設内に保管しました。

(※) 文部科学省の通知(8月26日23文科ス第452号)による校庭・園庭等の空間線量率の対策の目安は 1μ Sv/h

3 今後の対策

いわゆるマイクロスポットとなる構造類型を把握、その撤去方法、残土管理方法等の具体的取り扱いを放射線対策部で検討し対応してまいります。

お問い合わせ先			
健康福祉局	健康安全課担当課長	倉持ジョンロバートカー	Tel 671-2468
道路局	維持課長	永瀬 一典	Tel 671-2750
環境創造局	環境管理課長	畑澤 智	Tel 671-2474